



# 陽苑だより

No. 98

令和2年  
7月発行  
春秋冬

夏



日本車月協会  
全沢支那理事長  
後 章久様 作

地域の心が  
大切に育てられた盆栽です。  
触れずにご鑑賞ください。

## ■ もくじ

- P2 第三万陽苑福祉施設情報統合システムについて
- P4 各施設近況報告
- P6 就任のあいさつ
- P7 令和元年度事業報告及び決算状況
- P8 感謝録・ボランティア掲示板

仁・愛・心 時代とともに 地域とともに



# 第三万陽苑 福祉施設情報統合システムについて

## ナースコール連携



居室の入口に人感センサーで表示される液晶パネルが設置されました。

ナースコールが押されると、介護ステーションのパネルと介護員が持っているスマートフォンに通知され、どなたからか瞬時に分かり迅速な対応ができます。



PiPi

## バイタル



QRコードで本人を特定し、バイタル測定後に測定器をスマートフォンにかざすことで数値を読み取り、自動で記録します。

昨年度、利用者を見守る機能の向上と業務の効率化を目指すことを目的に、施設内の情報を通信機器でつなぐため1年かけ整備され、今年度から運用することができました。劇的なICT・IoT化に伴い、ようやく少し慣れた状況です。今回は導入された福祉施設情報統合システムがどのようなものか、紹介させていただきます。

## 廊下用見守りカメラ



1階と2階の廊下に死角がないよう、28台のカメラを設置しました。

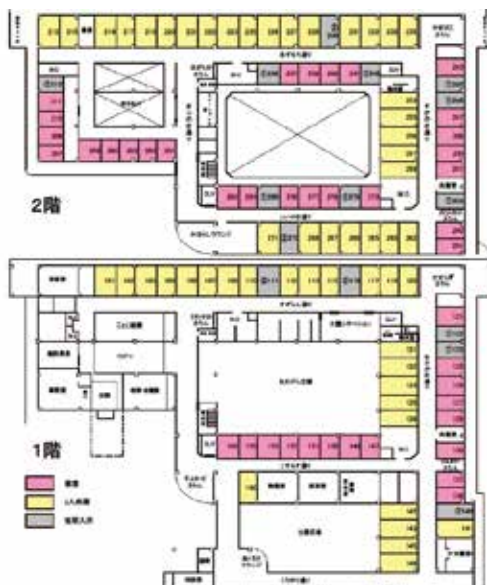
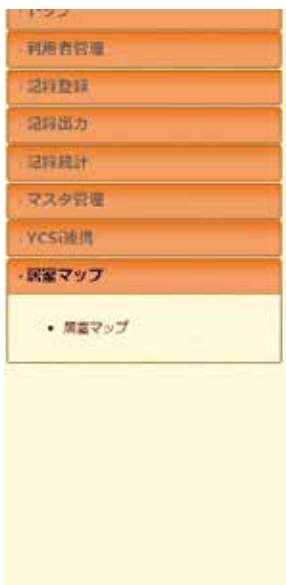


49インチの大画面で、ライブ映像が確認できます。

カメラ専用のパソコンで9日間録画管理し、転倒等の事故の検証や報告書に静止画を添付することができます。

## 居室用見守りカメラ

▼居室マップ画面



プライバシーに配慮し、居室を選択して夜間の巡回や見守りのため、映像で確認できます。約4日間録画され管理者のみ確認が可能です。

※運用に際し、本人または家族の同意を得ており、拒否された方はカメラのレンズを閉じています。

今後も有効に活用し、利用者への迅速な対応や事故防止に努め、安心して過ごしやすい生活環境を提供したいと考えています。

# 各施設近況報告

## 養護老人ホーム 向陽苑崎浦

向陽苑崎浦では、今年度の重点目標の一つ「がんばろう崎浦健康いきいきプロジェクト」として、主に週2回、ホールで新しく導入したカラオケ機器を利用して音楽療法や健康体操、脳トレ等を行っています。

利用者様には、新型コロナウイルス感染拡大防止のため外出等を控えていただいている状況ですので、運動不足解消や体力増進、ストレス発散のためにこのようなレクリエーションに多数参加してもらっています。



## 養護老人ホーム 向陽苑木曳野

新型コロナウイルス感染症対策として、利用者の皆様には面会制限や外出制限についてご理解をいただいております。

施設の行事もなかなか開催することが難しいですが、利用者様の心身のリフレッシュを目的に、三密を避けつつ屋上での外気浴や茶話会の実施、昼食時に特別献立の提供等を行っています。

また、手洗いチェッカーを使用し手洗い指導を行い、感染症対策に努めています。



## 特別養護老人ホーム 万陽苑

新型コロナウイルス感染予防を図り、利用者様の安全を第一とするため、今年は例年実施している花見ドライブなど外出行事については開催を断念いたしました。

そのため、今春は主に施設の中からのお花見となりましたが、幸い、当苑明悠館の外周には桜の木が何本もあり、ベランダから見る満開の桜は絶景で、穴場とも呼べるスポットなのです。3階のベランダからであれば、普段は見上げる桜の花々を上から見下ろすことができます。来年はこの桜の木の下で、また皆で楽しく観桜会ができますように…と祈るばかりです。



## 特別養護老人ホーム 第二万陽苑

利用者様の理髪は、外部のヘアサロンによる出張理髪（有料）を利用しておりましたが、新型コロナウイルス感染予防のため利用を控えさせていただいておりました。

幸い美容師の国家資格を持つ職員がおり、ご家族様同意のもと、カットをさせていただきました。「長めに残して」「前髪はまっすぐ切って」など利用者様のご要望にお応えし、きれいに整い、たくさんの笑顔が見られました。



## 特別養護老人ホーム 第三万陽苑

### 新型コロナウイルス感染防止 ～「変わらない日常」への取り組み

感染拡大防止対策として、外部の方々には施設内の出入りを制限させていただいております。今までにない状況の中、利用者の皆様も少なからず影響を受けています。

予防を徹底しながらも、不安やストレスにならないよう出来るだけ「いつも通りの生活」を心がけています。

今年度から「生活総合機能改善機器DAM (ダム)」を導入し、歌や音楽を使った集団体操を行っています。またBGMを流したり、カラオケも出来ます！それぞれの青春時代に流行った音楽が流れると大合唱の始まりです♪



人との間を  
保って理髪

さんさんリハ  
(集団体操)で  
気分転換♪



## 救護施設 三陽ホーム

この春は新型コロナウイルス感染防止のため外出規制となっていました、マスク着用、手洗い、うがいを徹底した上で、4月3日、園敷地内を散策しました。15分位でしたが、外に出られない日々が続く中、満開の桜を觀賞出来、気分転換になったと笑顔がこぼれていました。また、希望の品物を購入するために買い物代行を行ったり、職員付き添いで外出支援を行い、日常生活に支障がないよう支援しました。

5月からは新しくカラオケ機器が導入され、カラオケはもちろん、内蔵されたオリジナル体操を活用し、機能訓練に役立てています。パズルやDVD鑑賞も増やし、屋内での余暇活動を充実させ心身のリフレッシュを図りました。



## 障害者支援施設 ハビリポート若葉・若竹

### 「新しい生活様式」を考える

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、当施設では「新しい生活様式」を意識した取り組みとして、ご面会・ご相談について、一部場所の見直しやビニールシートでの間仕切りを行い、空間分離を施した上で実施させていただいております。

皆様には予約制や時間帯の制限等を設けさせていただき、ご不便やご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、「新しい生活様式」実践のため、日々頭を悩ませ試行錯誤しながら、利用者様の安全を第一に、今後もあらゆる手段を講じていきたいと考えております。





診療所所長

## 東藤 義公

4月から陽風園診療所に勤めさせて頂くことになりました。前任の金沢市立病院では陽風園からかなり救急受け入れをしていましたので、大体わかっていると思っていたのですが、実際に見て、あまりにも大きな組織であることに驚愕しています。まだ全体を十分に把握できていませんが、高齢者以外の方をも対象にした施設運営に畏敬の念を抱かずにはおられません。若い頃、癌終末期のホスピス運動が始まった頃に、世界で最も充実しているホスピスである米国のカルバリーホスピタルを視察に行ったことがあります。その風景、雰囲気は陽風園のそれと、とても良く似ていることに気づきました。陽風園の建物内部は安らぎと暖かさが感じられ、建物周囲は年輪を重ねた木々で取り巻かれています。玄関前の池は、職員の手造りと生きていますが、取り巻く岩木は素晴らしく、人影を見つけると一斉に寄ってくる鯉、日光浴の亀、鶴の置物など一目で大好きになりました。あけぼの作業所のクッキーもかわいくておいしいので、市立病院のコロナ担当病棟などへの差し入れなどに使っています。微力ながら少しでも貢献できますよう努力したいと思っています。



向陽苑木曳野 施設長

## 山森 裕美

4月から向陽苑木曳野の施設長を務めさせていただいております。養護老人ホームの業務に初めて携わることになり、併せて、施設長という重責を任せられ身の引き締まる思いであります。

さて、向陽苑木曳野も9年目を迎え、これまで大徳地区とは災害時における周辺住民の避難所として協定を締結し、協力体制を整えたり、近隣のみなとこども園の園児の皆さまと合同避難訓練を実施するなど、地域の一員として交流をさせていただいております。今年は七夕祭り交流イベントとして、短冊や七夕飾りを利用者の皆様と一緒に制作し、楽しんでいただく計画をしておりましたが、世の中の状況を見ながら、もうしばらく地域の皆様との交流は控えさせていただきたいと考えております。新型コロナウイルスの発生により、これからの日常生活のあり方が大きく変わろうとしています。利用者の皆様とともに、新しい生活様式を实践し、安心安全な生活を過ごしていただけるよう努めて参りたいと存じます。よろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。



あけぼの作業所 施設長

## 川岸 義則

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。このたび4月からあけぼの作業所施設長を務めさせていただくことになりました。あけぼの作業所での業務は初めてのことであり当初から大変緊張をして肩に力が入っていたように思いますが3ヶ月を経過しましてようやく利用者の皆様と職員の皆さんの声かけで落ち着いてきたように思います。私は、施設長として就任することも初めてですので大役を仰せつかり、その重さを痛感しておりますところでは。

現在、新型コロナウイルスの影響であけぼの作業所としては例年通りの活動が思うように出来ていない状況ではありますが、職員一丸となって「あかるくて けんこうで ほがらかで のびのび」を信条に、働く仲間との協調、組織としての共同など楽しい施設づくりに努めています。あけぼの作業所は開設当初から行っている内職作業、食品製造とも作業経験の蓄積と実績があります。特に漬物や焼菓子に関しては、衛生管理を徹底して行っています。請負作業として箱折り、タオル折り、シール貼り、輪ゴムかけ、封筒封入作業等幅広く行っております。利用者様一人ひとりの仕事の幅も高く高い生産性が実現可能です。作業に必要な結束機や製品管理場所等のスペースも十分あります。委託業者、販売先との信頼関係づくりを大切に、地域に根差した施設づくりを実現するため、微力ではございますが努力して参りますので、どうかご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。まずは略儀ながら書中をもってご挨拶申し上げます。



事務局次長

## 小林 大三

4月から事務局次長に昇任いたしました。今年で事務局9年目となった現在、令和元年度の決算業務も無事に終わり経理課長として一安心しております。これも一重に皆様方のおかげであると心から感謝しております。

私は、平成24年4月に万陽苑から会計課に異動となり、計算関係書類などはもちろん簿記の貸借も全く分からず、伝票仕訳などを含め業務すべてにおいて苦労したことを今でも憶えています。それから、社会福祉法人会計基準の制定や社会福祉法の改正などがあり、色々と経験をさせて頂きました。

昨年度までは、経理に関する業務が殆どでしたが、今年度から新たな委員会やプロジェクトへの参加が増えたほか、「陽風園経営基本計画2018」の見直し時期でもあり、今まで以上に気を引きしめて取り組んでいく所存であります。

事務局では、ご利用者と直接かかわることが少ない部署ではありますが、皆様が元気で健やかに生活できることは勿論、職員の働きやすい環境づくりを目指し、事務局としての役割を果たせるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの期間における園の事業実績を、次のとおり報告いたします。

## 1 福祉サービス向上への取り組み

- (1) 社会福祉事業の目的に従い、福祉サービス利用者の尊厳を守りながら、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することと、地域における社会福祉の推進を図るため各々の施設において、事業計画の基本方針に基づき、利用者個々の心身及び生活の状態または地域の福祉ニーズに即したサービスの提供に努めました。また、「私たちの信条」のもと、陽風一家が一丸となり事業に取り組むことを旨としました。
- (2) 特養3施設に理学療法士または作業療法士を配置し、利用者のケアプランに基づき、関節可動域訓練や筋力トレーニング等の専門的リハビリを実施いたしました。また、職員に対しても食事介助時のポジショニング等の指導を行い、利用者へのサービス向上につなげました。
- (3) 支援者の成長を目的としたエピソードカンファレンスを全職員対象に実施をし、対人援助技術のスキルアップを図り、利用者へのサービス向上につなげました。
- (4) 安全運転の意識向上を図るため、公用車全車にドライブレコーダーを導入いたしました。施設では、通院や送迎等で、利用者と同乗してもらう機会が多いことから、運転時の注意喚起を図りました。
- (5) 第二万陽苑では、快適な空間を提供するため玄関フロアを全面リニューアルし、利用者の喫茶コーナーや来訪者の応接室として利便性を向上させフロアの利用を促進しました。
- (6) 第三万陽苑では、利用者が個々にADLに応じて快適で安全に入浴ができるよう一般浴室を個浴に改修しました。
- (7) あげぼの作業所では、インターネットによる通信販売を本格的に実施し、販路を拡大しました。

## 2 在宅福祉サービスへの取り組み

居宅サービス及び施設機能の提供

- |              |                |
|--------------|----------------|
| ア 短期入所サービス   | カ 生活援助員派遣事業    |
| イ 通所介護サービス   | キ 子育て支援・世代間交流  |
| ウ 訪問介護サービス   | ク 障害者への地域生活の援助 |
| エ 在宅者の福祉相談援助 | ケ 指定特定相談事業     |
| オ 居宅介護支援事業   |                |

## 3 地域交流・社会貢献・施設機能の地域開放

施設の開放

- |                   |
|-------------------|
| ア 町会会合等への会場提供     |
| イ 見学視察の受け入れ       |
| ウ ボランティア・実習生の受け入れ |

## 4 非常災害対策への取り組み

陽風園の非常災害体制は、本園の防災センター（宿直室及び第一応接室）を中心に万全を期すとともに、非常災害対策統括委員会にて非常災害時の対応を集約しています。

設備については、スプリンクラー設備、消火栓設備、自動火災報知設備、非常通報設備等を整備するとともに、当該設備の保守及び定期点検の徹底を図り、有事に備えました。また、各施設では毎月1回避難訓練を、園においても春・秋の火災予防運動週間に合わせて総合避難訓練を実施するとともに、地震や津波の発生を想定した災害図上訓練（DIG）や地域合同避難所運営訓練（HUG）、崎浦地区町会連合会と合同で地域合同非常食調理会等より実践的な訓練も実施し、防災体制の一層の強化に努めました。

## 5 職員の資質向上への取り組み

社会福祉士や介護福祉士、精神保健福祉士等の各種資格取得にむけて必要な援助を行いました。

## 決算報告（概略）

資金収支計算書

(単位：円)

勘定科目	金額
当期資金収支差額合計	83,688,443
前期末支払資金残高	1,810,339,290
当期末支払資金残高	1,894,027,733

事業活動計算書

(単位：円)

勘定科目	金額
当期活動増減差額	107,554,208
前期繰越活動増減差額	5,698,316,697
当期末繰越活動増減差額	5,805,870,905
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	188,751,000
その他の積立金積立額	279,000,000
次期繰越活動増減差額	5,715,621,905

貸借対照表

(単位：円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	2,139,667,679	流動負債	592,046,024
固定資産	10,835,875,122	固定負債	1,793,917,608
基本財産	9,544,109,580	負債合計	2,385,963,632
土地	1,442,043,278	基本金	1,550,912,684
建物	8,102,066,302	国庫補助金等特別積立金	2,573,100,580
その他固定資産	1,291,765,542	その他積立金	749,944,000
		次期繰越活動増減差額	5,715,621,905
		純資産合計	10,589,579,169
資産合計	12,975,542,801	負債及び純資産合計	12,975,542,801

※これらの詳細については、法人HPの情報開示にてご覧いただけます。

<https://www.yofuen.com/disclosure/>

## 感謝録 3月～5月

(順不同・敬称略)

### ◆ 寄付物品の部

- あけぼの作業所家族会
- 安田 貴幸

### ◆ 寄付金の部

- あけぼの作業所家族会
- シオタニ株式会社 塩谷真一郎
- その他匿名13名

ご厚意ありがとうございました。

### ◎ 実習・体験

金城大学（ソーシャルワーク実習Ⅱ）（三陽1名）

### ◎ 社会貢献活動

崎浦クリーン作戦（本園）

## volunteer message board ボランティア 掲示板

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染リスクを極力最小化するため、ボランティアについては受け入れを中止させていただいております。

今後も国や石川県の方針に基づいて対応していきますので、ご理解の程よろしくお願いたします。なお、陽風園の対応や各施設の対応状況につきましては、別途ホームページ（<https://www.yofuen.com/>）で公表させていただいておりますので、そちらをご確認ください。

あけぼの作業所  
より

## レジ袋有料化のお知らせ

2020年7月1日から、全国の小売・販売業者等に対し、プラスチック製レジ袋（持ち手付）を提供する際には有料化が義務付けされました。

これに伴い、あけぼのショップでも持ち手のあるレジ袋を有料化させていただくこととなりました。

**（大5円、中3円、小2円 ※全て税込）**

有料化の義務付けの背景には、海に捨てられるプラスチックごみの削減という環境保全問題があります。

皆様には、レジ袋の有料化へのご理解及びマイバッグのご持参等ごみ削減へのご協力をお願いすると共に、今後もあけぼのショップをご愛顧くださいますようお願い申し上げます。



# ECOBAG

マイバッグでプラゴミ削減!